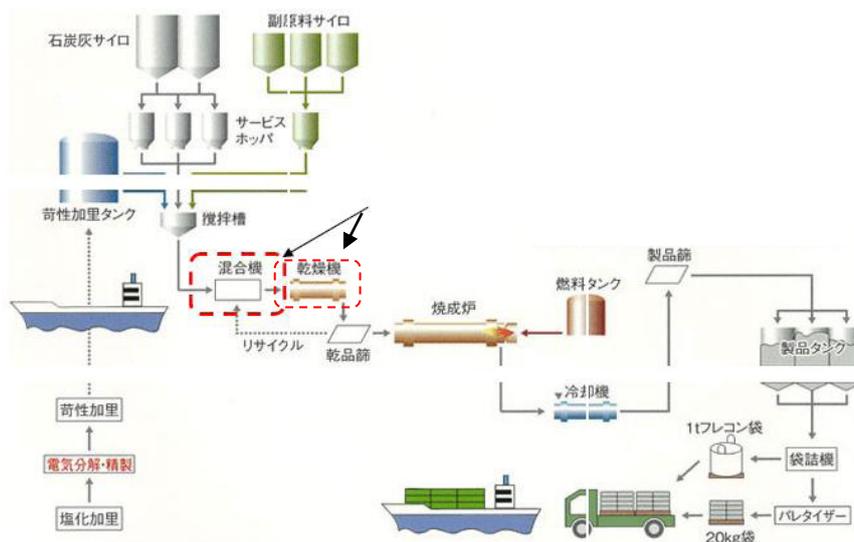


変更前の機構/構造説明	変更後の機構/構造説明
<p>混合機にて、けい酸加里原料(石炭焚飛灰+加里ほか)の原料スラリーと循環する原料粉を調湿混練すると共に、造粒核を形成する。 混合機後段に設置した乾燥機にて造粒し、焼成炉で焼成しケイ酸加里肥料(粒径:2~4mm)を製造する。</p>	<p>新日南製ダウ・ミキサー。 (不等速2軸)を導入することにより、効率化を計る。</p>

ケイ酸加里製造工



(1)装置・機器の概要説明

①不等速2軸連続式ダウ・ミキサー。 … 1式

混練機での攪拌回数を十分に確保することで、疑似造粒化を図り、後段機器のロータリーキルン式焼成炉での造粒性を高める

(2)解決すべき課題

けい酸加里原料(石炭焚飛灰+加里 ほか)は粘着性・固着性が高い。

(3)当社製品の利点

不等速2軸ダウ・ミキサー。により粘着性・固着性が高い粉体原料の混練造粒が可能となる。

※混合機と乾燥機(転造粒)で製品(粒径:2~4mm)の歩留まりは80%程度。

造粒専用の混練機(レディゲミキサ)及びパン型造粒機は固着対策が出来ないため、撤去予定である。